

宮城県復興まちづくり通信

Vol.12

平成26年1月発行

宮城県土木部復興まちづくり推進室



トピック

1. 復興まちづくり情報提供の拡大について

県では、復興庁宮城復興局、市町と連携し、被災者の方々が復旧復興事業の進捗を実感できるよう、さまざまな取組みを行っています。その取組みの一つとして、住宅の供給や復興事業の今後の見通しなどを分かりやすく示した「復興まちづくり事業カルテ」を作成し、ホームページでの公表やパネル掲示などによる情報提供を行っています。今後も、市町や関係機関の協力を得ながら積極的な情報提供に努めていきます。

これまでの主な掲示場所

▶ 県庁・県合同庁舎・土木事務所・市町庁舎や出前講座・研修会・セミナー会場など



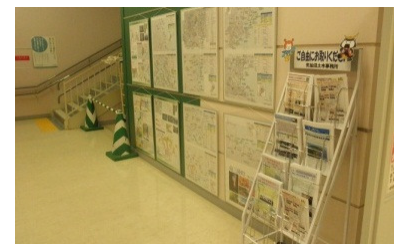
気仙沼市仮設住宅集会所

【仮設住宅団地での掲示】

被災者の方々がより身近な場所で、復興情報に接することができるよう、気仙沼市及び南三陸町の協力により、仮設住宅団地の集会所にカルテを掲示する取組みを始めました。今後、この他の沿岸被災市町の仮設住宅団地についても取組みを進めていきます。

【商業施設での掲示】

復興まちづくりの進ちょく状況について、市町及び大型店舗と連携し、復興まちづくり事業カルテ情報のほか、市町事業の情報などを併せて提供していきます。現在、イオン気仙沼店での掲示を行っており、今後、その他の沿岸市町の商業施設でも掲示を行っていきます。



イオン気仙沼店

主な掲示内容

- ▶ 住宅や宅地の供給予定時期 → [防災集団移転, 災害公営住宅, 土地区画整理]
- ▶ 復旧復興事業の見通し → [国・県・市の道路, 河川, 海岸, 漁港事業など]



三陸縦貫自動車道 春日PA

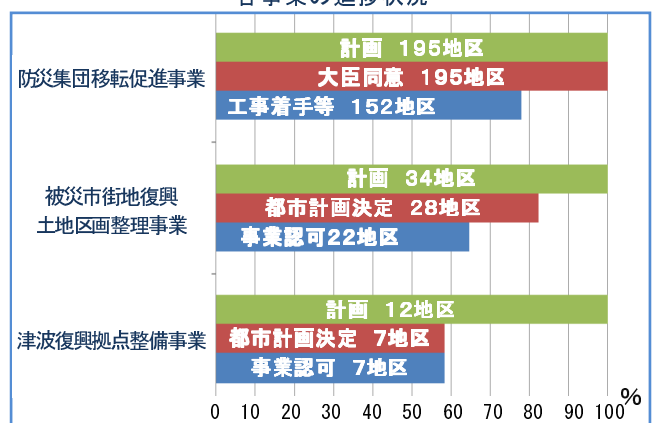
2. 復興まちづくり事業の進ちょく状況について

防災集団移転促進事業については、計画地区数195地区の全地区において、事業計画の大臣同意を得ており、工事着手地区数は、152地区（約78%）、宅地引渡し開始は、7地区となっています。

被災市街地復興土地区画整理事業については、計画地区数34地区のうち、28地区（約82%）で都市計画決定がなされ、事業認可地区数は、22地区（約65%）、工事着手は、9地区となっています。

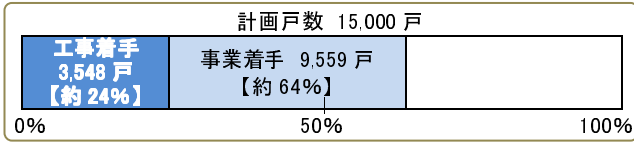
津波復興拠点整備事業については、計画地区数12地区のうち、7地区（58%）で都市計画決定がなされ、事業認可地区数は、7地区（約58%）、工事着手は、5地区となっています。 [H25.12 末時点]

各事業の進捗状況



3. 災害公営住宅の整備状況について

災害公営住宅整備事業については、整備計画戸数15,000戸のうち、21市町138地区、9,559戸の事業に着手し、うち、17市町59地区、3,548戸が工事着手済みであり、工事完了戸数は、5市町13地区、266戸となっています。〔H25.12末時点〕



1/200 スケールモデル



H26.1.14 撮影

女川町陸上競技場跡地地区
今年度末の完成を目指し、急ピッチで工事が進められています。
整備戸数: 200 戸、入居者数: 407 人

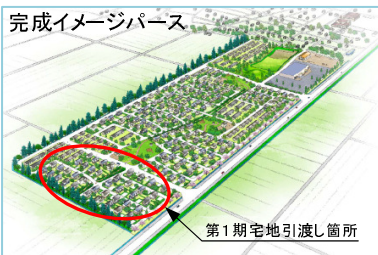
各地域の動き

1. 岩沼市防災集団移転促進事業「玉浦西地区第一期引渡し式」について

玉浦西地区の防災集団移転促進事業については、平成24年5月22日に全国で最初に大臣同意を得て、同年8月5日に県内で最初に工事着手し、平成25年12月21日に賃貸、分譲する宅地の契約を結ぶこととなったことから、現地において「引渡し式」が開催されました。式典には、井口市長、三浦副知事のほか、小泉復興大臣政務官などが参列され、盛大に執り行われました。



契約書への署名の様子



完成イメージベース

第1期宅地引渡し箇所

玉浦西地区は、被災した6つの集落が震災前と同じように住民間のコミュニティが図られるよう、集落ごとにとまどって移転できるよう街区が整備されています。今回は、第1期分の引渡しとなり、相野釜地区の元住民の方々が移転する35戸分が対象となっており、年明けから家屋の建築工事が着手される見通しとなっています。

2. 南三陸町防災集団移転促進事業造成工事「戸倉地区藤浜団地」が竣工

平成25年12月21日、南三陸町初となる防災集団移転促進事業による造成工事の竣工式が執り行われました。戸倉地区藤浜団地は、高台移転とする防災集団移転団地として県内で第1号となりました。竣工式では、施工業者から佐藤町長へ引渡書が提出され、佐藤町長から施工業者へ引受書が交付されました。その後、関係者によるテープカットが行われ、竣工を祝いました。



造成工事が完了した藤浜団地

町では、今後、確定測量などを行い、居住者に宅地を引渡すとともに、集会所や給水施設、防犯灯などを整備していきます。



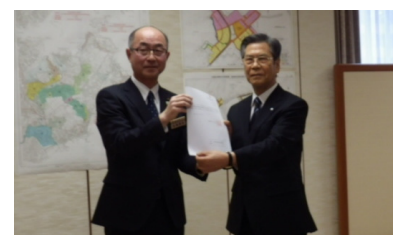
引渡書を受け取る佐藤町長

3. 七ヶ浜町被災市街地復興土地区画整理事業4地区の事業認可について

平成25年12月25日、七ヶ浜町で計画している菖蒲田浜地区をはじめとする被災市街地復興土地区画整理事業全4地区の事業認可書の交付式が県庁で行われました。4つの地区は、主に現地再建希望者のための居住拠点を形成することとしており、津波対策として地盤の嵩上げを行い、公共施設の整備改善を図り、東日本大震災からの早期復興を目指します。

【事業概要】

地区名	菖蒲田浜	花洲浜	代ヶ崎浜A	代ヶ崎浜B
施工面積	4.1ha	9.8ha	4.7ha	7.4ha
事業費	約5.6億円	約14.2億円	約5.1億円	約14.7億円
施工期間	平成25年度から平成28年度まで			
将来人口	約80人	約110人	約120人	約250人



認可書を手にする遠藤土木部長と渡邊町長

県復興まちづくり推進室の取組み

1. “出前講座”「宮城県の復興まちづくりの計画と現状」を開講

東日本大震災から2年10ヶ月を過ぎ、復興まちづくりは、計画段階から実施段階へと進んできており、一日も早い復興に向けて、社会資本の早期整備が望まれています。また、宮城県の更なる発展には現在進められている復旧・復興に加えて、今後も長期にわたる社会資本の整備、維持が必要不可欠です。そのため、社会資本整備を担う、土木技術を学ぶ高校生、大学生の方々に復興まちづくりの計画と現状を伝え、関心を持っていただくとともに、今後の進路の参考としていただくことを目的として、出前講座を開催しました。12月5日の東北学院大学工学部から始め、宮城県石巻工業高等学校、日本大学理工学部の3校で実施し、説明者は、同大学及び同高の卒業生が中心となっていました。今後も、この取組みを継続的に実施していきます。



東北学院大学工学部

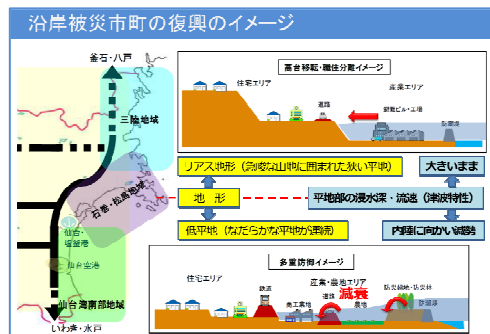


宮城県石巻工業高等学校

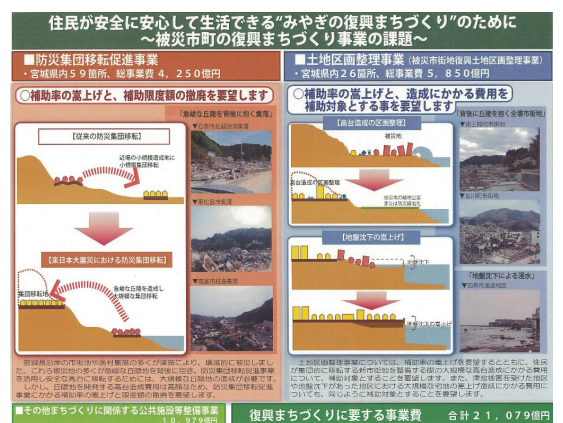
に復興まちづくりの計画と現状を伝え、関心を持っていただくとともに、今後の進路の参考としていただくことを目的として、出前講座を開催しました。12月5日の東北学院大学工学部から始め、宮城県石巻工業高等学校、日本大学理工学部の3校で実施し、説明者は、同大学及び同高の卒業生が中心となっていました。今後も、この取組みを継続的に実施していきます。

2. 「みやぎの復興まちづくりアーカイブ」の編集について

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、過去に体験したことのない災害でした。多くの職員が様々な立場でこの震災に関わり、今までにない体験をしています。この貴重な体験、被災状況、被災への対応や震災後の諸事情を記録としてまとめることは、今後の災害等の対応においても大変貴重な資料になるものと考え、現在、「みやぎの復興まちづくりアーカイブ(仮称)」をまとめるための編集作業に取り組んでいます。



これまでの復興まちづくりへの道のり、特に、初動対応は、従来の対応では解決できないことばかりであり、当時の行動を記録として残しておくことは、体験した者たちの責務と認識しています。そこで、編集に当たっては、この初動対応にも視点を向け、それぞれの部署の担当者の当時の体験も交えた内容にしたいと考えています。



平成23年8月 政府要望資料

地域からのたより

1. 気仙沼市から ～魚町・南町地区土地区画整理事業の状況～

魚町・南町地区土地区画整理事業(通称内湾地区)では、権利者・まちづくり協議会・市・関係者が一丸となって事業推進に努めています。住民と事業者で構成するまちづくり協議会では地区毎、テーマ毎等に数多くの議論の場を設け、住宅や店舗・事業所、公共施設等の配置やそれらの再建・共同化・誘致といった事業手法等を含めたまちづくりのランド・デザインを描き、その実現に向けた取組を進めています。全国的な人口減少・低成長の情勢下、中心市街地の再編・活性化を郷土に対する愛着に支えられながら進めており、魅力的なまちの整備を目指し、進めていきたいと思っています。



まちづくり協議会の開催状況

気仙沼市建設部都市計画課土地区画整理室 奥園俊一(福岡県大牟田市派遣職員)

2. 東日本大震災の復興事業による建設発生土の利活用について

復旧・復興事業で使用する盛土材には様々な入手方法がありますが、他工事からの提供を受ける場合、それを可能とするのは、発生側の受入側に対する細やかな心遣いであるといえます。

現在、七ヶ浜町では復興事業で発生する土の有効利用を図るため、塩釜市（H25.10.9 協定）、仙台土木事務所（H25.12.11 覚書）へ土の供給を開始しており、現在も1市と調整を行っています。

この結果は町担当者の熱意により、土の区分や大きさの選別などを積極的に行ってきた成果であります。

今後も発生土の有効活用が図れるよう、関係機関一丸となり努力していきたいと考えています。

（宮城県仙台土木事務所 復興まちづくり担当）



七ヶ浜町花洲浜笹山からの土砂搬出状況

復興まちづくりの様子



気仙沼市鹿折地区
被災市街地土地区画整理事業
災害公営住宅整備事業



女川町中心部地区
被災市街地土地区画整理事業
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業



石巻市新蛇田地区
被災市街地土地区画整理事業
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業



石巻市沖六勾西地区
災害公営住宅整備事業



東松島市野蒜北部丘陵地区
被災市街地土地区画整理事業
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業



七ヶ浜町代ヶ崎浜立花地区
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業



仙台市荒井西地区
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業



名取市下増田地区
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業



山元町新山下駅周辺地区
津波復興拠点整備事業
防災集団移転促進事業
災害公営住宅整備事業

○問い合わせ先 宮城県土木部復興まちづくり推進室
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1
TEL.022(211)3207 FAX.022(211)3295
e-mail fukumachi@pref.miyagi.jp
HP <http://www.pref.miyagi.jp/fukumachi/>

復興加速



復興実感

がんばるっちゃ!

宮城県土木部